

JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さま

2025年2月19日

当院の診療で得られた試料・情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の間合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

① 研究計画名	UKA の脛骨コンポーネント後傾設置角度は術後 5 年時の膝前方安定性に影響するか		
② 研究責任者	氏名	畑山和久	所属 整形外科
③ 研究の目的・意義	人工膝関節単価置換術（UKA）は、前十字靭帯（ACL）を温存しつつ、変形した大腿骨内側顆および脛骨内側顆を人工関節に置換する手術です。良好な長期成績を得るため、UKAにおける最適なコンポーネント設置角度を明らかにする研究が行われています。当院では脛骨コンポーネントの後傾設置角度について、患者の術前脛骨後傾角度を参考に脛骨コンポーネントを設置しています。今回の研究では2016年4月以降、当院でUKAを施行した患者を後ろ向きに調査し、脛骨コンポーネント後傾設置角度が5年以上経過時のACL機能と臨床成績に影響するかを調査します。この調査によって、今後のUKA手術における最適なコンポーネント設置角度を定める重要な指針となると考えます。		
④ 研究期間	倫理審査承認後～2030年3月31日		
⑤ 対象となる患者さま	2016年4月1日～2025年3月31日の期間に当院でUKAを施行した患者さま		
⑥ 利用する情報	電子カルテより以下の情報を利用（提供）します。 【生年月、年齢、性別、既往歴、合併症、身長、体重、個人識別符号、手術記録、理学的所見、レントゲン写真、MRI】		
⑦ 利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。		
⑧ 情報の管理	使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。 また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合があ		

	りますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。		
⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	畑山和久	所属 整形外科
	TEL	027-221-8165 (代表)	